



表紙写真/朝妻地区運動会

9月定例会

| | | | |
|---------------------|----|---------------------|----|
| ■ こんな事業に使われました | 2 | ■ 町政を問う 一般質問(6人が質問) | 12 |
| ■ 平成26年度一般会計・特別会計 | 4 | ■ 委員会報告 | 15 |
| ■ 決算賛成討論 | 7 | ■ 研修会報告 | 15 |
| ■ 平成27年度補正予算 | 8 | ■ 玉手箱・編集後記 | 16 |
| ■ 条例の一部改正・人事・その他の議案 | 11 | | |



われしました。

284万5千円

736万5千円

1,338万8千円

1,682万1千円

1,183万9千円

4,003万6千円

1,567万1千円

361万5千円

1,259万7千円

2,530万6千円

1,222万8千円

882万9千円

1,934万8千円

5,518万6千円

1,278万2千円

4,514万4千円

8,736万6千円

1億1,053万5千円

1,148万6千円

4億1,281万1千円

5,130万3千円



町制施行60周年記念事業



次世代自動車充電インフラ整備促進事業



住宅改修助成事業
(施工後)



住宅改修助成事業
(施工前)



災害対策



伊根中学校改築事業

平成26年度は こんな事業に使



明日のむら人移住促進事業
(改修前)



観光施設整備事業



明日のむら人移住促進事業
(改修後)



町道改良事業



伝統的建造物群保存事業

- ◆町制施行60周年記念事業
- ◆次世代自動車充電インフラ整備促進事業
- ◆町営バス運行事業
- ◆地方バス路線対策費
- ◆KTR対策費
- ◆減債基金積立金
- ◆社会福祉推進事業
- ◆健やか子育て医療費助成事業
- ◆一般廃棄物処理委託費
- ◆し尿処理対策事業
- ◆住宅改修助成事業
- ◆明日のむら人移住促進事業
- ◆有害鳥獣対策事業
- ◆伊根漁港海岸保全施設整備事業
- ◆漁港管理事業
- ◆観光施設整備事業
- ◆町道管理事業
- ◆町道改良事業
- ◆災害対策費
- ◆伊根中学校改築事業
- ◆伝統的建造物群保存事業

認定

歳入総額53億1,639万8千円
歳出総額51億3,283万7千円

一般会計決算のうち平成27年度に繰り越す財源を差し引いた額(実質収支)は1億2,630万円の黒字決算となりました。

平成26年度 会計別決算の状況

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 収支差引 | 基金残高 | 町債残高 | |
|-------------|------------|------------|-----------|--|---------------------------------|---------|
| 一般会計 | 37億6,005万円 | 36億 439万円 | 1億5,566万円 | 財源調整基金 9億7,576万円 雑費基金 6億8,735万円 特定目的基金 2億5,305万円 | 30億9,085万円 | |
| 国民健康保険特別会計 | 事業勘定 | 3億2,762万円 | 3億2,733万円 | 29万円 | 財源調整基金 1億2,176万円 その他基金 200万円 | |
| | 伊根診療所勘定 | 9,811万円 | 9,680万円 | 131万円 | | 1,595万円 |
| | 本庄診療所勘定 | 6,231万円 | 6,226万円 | 5万円 | | 501万円 |
| 簡易水道特別会計 | 1億2,944万円 | 1億2,846万円 | 98万円 | | 6億8,066万円 | |
| 下水道事業特別会計 | 4億5,413万円 | 4億5,384万円 | 29万円 | 1億1,171万円 | 8億6,553万円 | |
| 財産区特別会計 | 114万円 | 114万円 | 0円 | | | |
| 介護保険特別会計 | 保険事業勘定 | 4億1,936万円 | 3億9,750万円 | 2,186万円 | 482万円 | |
| | 介護サービス事業勘定 | 330万円 | 201万円 | 129万円 | | |
| 訪問看護事業特別会計 | 2,305万円 | 2,137万円 | 168万円 | 1,493万円 | | |
| 後期高齢者医療特別会計 | 3,789万円 | 3,774万円 | 15万円 | | | |
| 合計 | 53億1,640万円 | 51億3,284万円 | 1億8,356万円 | 21億7,138万円 | 46億5,800万円 | |

平成26年度 決算質疑

● 一般会計

■ 固定資産税を毎年即時で不能欠損処理していた法人について、財産が見つかり不能欠損処理が無くなった。なぜ、財産を今まで見つけることが出来なかったのか、財産調査が不十分としか言いようがないがその見解は。

○ 従来から京都府地方税機構とも協力をし、登記簿上は存続しているため、税を賦課することになるが、営業実態もなく換価できる資産もないという事実として現年分の即時の不能欠損とした。地方税機構で具体的な調査をし、この法人の所有となる出資金の存在について確認した。この出資した株券を紛失したということが確認された。今後は、早期に結論が出せるよう機構とも連携しながら対応していく。

■ 自動車急速充電器を設置したが、利用者数は。

○ 4月の利用開始から8月未までに122件の利用。月平均で24件程度、1日の最高が4件となっている。



自動車急速充電器

■ 狂犬病予防注射済票が68件となっているが、犬の登録頭数が100頭となっている。注射をしない犬がいるのか。

○ 32件狂犬病予防注射が出来ていない。

■ 伊根町廃屋、空き屋緊急対策検討会の検討状況は。

○ 地域の教科書作りについて、取りまとまったものを伊

歳入歳出決算を

根地区に限って議論し、現在町のホームページにアップしている状況だが、具体的な成果については、まだ出てきていない。

問 住宅改修助成事業で、26年度は伊根49件、朝妻15件、本庄4件、筒川5件の業種別件数は。

答 業種別の件数は、大きく分けて大工工と瓦工と設備工に分けている。大工工が29件、瓦、屋根工事が5件、設備が32件。

問 水産業振興費で、農業と漁業の振興にかかる経費がすごく違う。漁業は、種苗放流や原木魚礁で資源管理と沿岸漁業の振興ということで行われているが、事業が水揚げするまでの事業ばかりであり、その後の6次産業化であったりブランド化については、十分ではないかと思うが、決算を踏まえて拡充する考えはないか。

答 農業に比べて格段に少ないのが現状。漁業については、年に1回代表者を集めて、い

ろいろな意見を伺っているが、なかなか建設的な意見がいたらない。本年度も会議があるので、収益を増やす対策として、どういう支援が出来るか協議し、支援できることがあれば話を進めていきたい。

問 通訳サポート事業の一番の問題は、外国の方が伊根町に通訳がいることが分かっていないという点。日帰りの方たちはどこを見ればそれが分かるのか、実際にどこかに掲載されたことはあるのか。

答 掲載したことはない。指摘を受け止め、観光協会や町のホームページで十分周知を図るなど、対応を図っていきたい。

問 伊根町ふるさと応援寄付金に対する特産品の販路開拓について、委託先に指導していく予定はあるか。

答 行政が一方的にこういうふうにしなさいというのは適当でないと思っている。販路開拓をするのは、それぞれの努力が無ければ開拓は進まないと思っているので、業者の

方々に工夫改善をしていただきたい。

問 ふるさと納税のクレジットカード納付と利便性の向上について、どのような考えなのか。

答 そもそもふるさと納税については、納税と言われている寄付行為であると理解している。地方と都市部の納税格差を解消する寄付として創設された制度であり、あまり過剰なサービスを展開していくというのは、国のほうも消極的で、そんなことで寄付を募るのはいけないのではないかと見解が総務省で出されている。伊根町もそういうことを受けて、あまり過剰にならないかということを心配しており、必要最小限のことはする必要があると思うが検討が必要。クレジットカードを利用した納付、楽天に掲載するということについては、確かに便利なものだと思うとおり、十分研究検討し、ふるさと納税の趣旨と商品のバランスを考えながら対応していきたい。

たい。

問 町営バス廃止の路線も出てきた。この地域には自分で車を持っている以外には移動する手段がない地域である。過疎地域の有償運送について検討する時期に来ているのではないか。

答 過疎地の輸送については、実際、伊根町にはタクシー会社がない。町営バスに頼っていても、時間が来れば運行が止まってしまう、夜に車を手配しようと思っても困難であるという過疎地の問題がある。タクシー会社もなく競合する相手もない状況であり、ぜひ、やられる方が手をあげていただき過疎地運送の申請を合法的に近畿運輸局が認めてくれるのであれば、公共交通会議にかけ話がまとまれば、過疎地の輸送は考えられる話だと思っている。

問 災害対策費で、越山の施設に防災備品を保管されているが、先日テレビで防災備品の盗難のニュースが流れていた。当町では点検を行っている

るのか。
答 毎月、日を決めて点検はやっていない。防災倉庫に他の物品等も置いてあるので、行った際には目視確認は行っている。



備蓄品

問 基礎学力充実支援事業ということで、hyper-QUという心理テストはどういうテストで、学校でどのように活用されているのか。
答 心理テストで、内容的には小学校と中学校になっており、1つは学級集団作り、仲間づくり、いじめ防止、偏岡関係、学校全体の子供の状況を把握して指導に役立て学習に向かうということを取り組んでいる。

る。子供たちあるいは保護者に学校に好評である。

問 小学校副読本は、小中学生だけではなく、一般の方にも伊根町を知っていただくために、ホームページに掲載する考えはないか。
答 公開して皆さんに見ていただくということまではまだ考えていないが、検討する。



社会科副読本

問 里道をはじめとする法定外公物の維持管理に必要な原材料の支給が行われているが、原材料支給だけでなく、そうした費用についても、活き生きまちづくり交付金など一定の支援が必要ではないか。
答 原材料を支給しても、その後、誰がやるのか、この人員で誰が手伝えることが出来るのかという集落も実際にある。また、区の費用を使って対処する地区もある。地域で差を

つけるのはなかなか難しいところもあるが、やりたくても出来ない地域が出てくることを考えると、今後の取り扱いについて検討していく。

問 町道管理事業だが、町民の皆さんの協力により草刈り作業が多くの集落で年2回程度実施され、集落にとっては大きな負担となっている。この制度の状態で今後も続けていくことは困難だと思う。自助、共助、公助も理解しているが、単価の見直しを検討する時期に来ているのではないか。また、草刈り等は、いい汗をかくので、健康につながるのではあれば健康ポイントとする。



町道草刈り作業

付与する考えはあるか。
答 大変安い報價としてたくさん草刈りをしていただいている。基本となる単価について、機械の燃料費も加味して新年度の予算の中で検討したい。健康ポイントの付与についても今後検討する。

●国民健康保険事業助定質疑

問 基金が1億2千万円たまっていると思うが、1人当たりの基金額は、国民健康保険は、平成30年には府で一本化するの聞いているが、今後基金はどのように運用されるのか。

答 1人当たりの基金額は、約17万円になる。京都府下でも1番大きな額となっている。今後の用途は、平成30年の国保一元化に向けて進められており、基金を国保税に充当することが可能ということで、一元化された後は、伊根町にこれだけ保険税を下さいという賦課方式に変わる。それに対して、伊根町の国保会計と

して提示された額を徴収していくことになるが、保険税にあわせて財政調整基金からの取崩しを含めながら財源手当てをしていくことが可能と考えていない、基金が十分あるとは考えておりません。今後は、保険税の安価な設定も含めて考えていきたい。

問 一元化されたら国保税があがると認識しているが、基金の取り崩しが出るので、すぐには上がらないという理解でいいか。
答 何年間かは、激変緩和のための手当てが可能と考える。伊根町では、ももとの賦課される金額についても大きな引き上げが想定されるので、激変緩和を要請している。

問 人間ドックを受診するため病院へ行くまでの費用、交通手段がない方もいる。検討できないか。
答 人間ドックを受けていただけの病院が遠いので、足の確保がなかなか難しい。現段階では考えていないが、今後、総合的に検討する。

●簡易水道特別会計

問 朝妻浄水場のフェンスが草だらけでジャングルのような状態になっていて、周りにはサルの群が出てきていて、サルが浄水場に入らない対策が出来ないか。

答 今年度については、職員が1名長期休暇で手がまわっていないかった。臨時職員が採用され、現場に行くようになったため維持管理は進んでいく。しっかりとした体制が取れるように進めていく。

●介護保険特別会計

問 他市町村への入所者が少なくなったので、この部分の給付費が前年度と比べて減っているという説明を受けたが、現在の待機者は何名いるのか。

答 正確な数字ではないが、町内の方で10数名の待機となっている。

問 死亡により相続人不存在ということと執行停止されて53,610円が不能欠損処分されている。時効に至るま

でに、どの程度まで財産調査が出来たのか。

答 財産調査については、税機構が調査を行っており、税機構と連携をとっている。相続人がいないこともあり、相続財産管理人が設定され、そこへ債権の申し出をし、債権の配分を待っていたが、債権の配分より時効のほうが早く来た。



伊根の舟屋

決算賛成討論

大谷 功

▼本決算は、一般会計において実質収支1億2,62

9万9千円の黒字決算で、各指標は上昇し、全会計で起債残高も5億4,358万円の増額になっているが、大事業である伊根中学校建設事業や、下水道事業によるもので一時的なものであり、ここ近年の財政の良好な数値を今年度も維持をした。

良質價の活用など、努力が現れた決算で評価をする。今年度の事業では、健やか子育て医療費助成事業で、高校生卒業まで医療を完全に無料化したことは、画期的なこと。今後はこうして大事に育てた子どもたちをいかに町に定住してもらい、またUターンしてもらい若

い知恵と力を伊根町で使ってもらおうかが課題となる。

国保財政調整基金が1億2千376万円の積立額となり、世帯あたり29万9,664円一人あたり、17万4,8040円で他市町村と比較しても多額の基金積み立てだ。これを使った税の負担軽減、健康診断や、病気の予防などの健康増進事業、保健指導の徹底強化について、今後検討を望む。

町民の命と暮らしを守り、町民に夢と希望を与える政策の実現と、町民参加の取り組みで、町民みんなが活気のある、小さくても元気な伊根町を目指し、今後とも一層適進されることを期待し、平成26年度決算に賛成する。

和田 義清

▼平成26年度は町制施行60周年にあたり、下水道、中学校改築の大型事業が行なわれ、一般会計は前年度に続き30億円を越える決算となった。今回の決算も端的に視れば黒字決算であり、堅実で良好と認定されるが、歳入の根幹を成す地方交付税の減少傾向、財源比率の構成は厳しい状態である。収入未済額の更なる改善と今後ともバランス感のある町政運営に努め、地方創生を共に望む吉本町政に大いに期待しながら、議会としてその進捗を注視し、時にはしっかりと提言する事を申し添え、本決算認定の賛成討論とする。

平成27年度 補正予算

全会計補正予算全員賛成で可決

平成27年度 各会計別補正予算表

(単位：円)

| 会計名 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 一般会計 | 32億8,721万8,000円 | 4,779万4,000円 | 33億3,501万2,000円 |
| 国民健康保険特別会計 | 5億3,967万5,000円 | 52万7,000円 | 5億4,020万2,000円 |
| 事業勘定 | 3億6,027万9,000円 | 52万7,000円 | 3億6,080万6,000円 |
| 伊根診療所勘定 | 1億921万6,000円 | — | 1億921万6,000円 |
| 本庄診療所勘定 | 7,018万0,000円 | — | 7,018万0,000円 |
| 簡易水道特別会計 | 1億3,068万1,000円 | 9,918万4,000円 | 1億2,986万5,000円 |
| 下水道事業特別会計 | 1億919万4,000円 | 68万9,000円 | 1億988万3,000円 |
| 財産区特別会計 | 86万1,000円 | — | 86万1,000円 |
| 介護保険特別会計 | 4億1,856万9,000円 | 122万1,000円 | 4億1,979万0,000円 |
| 保険事業勘定 | 4億1,667万5,000円 | 122万1,000円 | 4億1,789万6,000円 |
| 介護サービス事業勘定 | 189万4,000円 | — | 189万4,000円 |
| 訪問看護事業特別会計 | 1,853万2,000円 | — | 1,853万2,000円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 3,975万2,000円 | 12万5,000円 | 3,987万7,000円 |
| 合計 | 45億4,448万2,000円 | 4,954万0,000円 | 45億9,402万2,000円 |

一般会計 第2回補正

問 空き家対策事業についての具体的な説明と、狙っている効果は。

答 以前行った外観調査により、197軒の空き家があることが判明した。197件の空き家所有者に連絡し、売却賃貸の同意が得られた方のみ間取り等の図面を作成後、空き家バンクに登録し、少しでも空き家の解消を目指したい。

問 町営住宅管理事業で修繕料は何処の住宅なのか。

答 現在予定しているのは、本庄宇治の旧医師住宅、退去のあった平田団地を計上し、余る分については、その後の修繕費として20数万円枠をとっている。

問 住宅の修繕は退去するときに行うのか。本坂の住宅は外観上からも、雨樋等の損傷が見られるが、そういったところの修理は。

答 住宅退去者の場合、退去時に住民と町とで各部屋を確

認し、修繕箇所がある場合は、どちらに責任があるか修繕費の案分をし、居住者に修繕責任がある場合は敷金の中から一部支払いをしていただいている。現在、居住中の住宅で、築年数20年以上の住宅も修繕している。本坂団地も、入居者から報告を受けているので、修繕に向けて検討をしている。

問 サル群の調査では全ての群を調査するのか、特定の群を調査するのか。また、檻の設置位置等の用途は。

答 サルの群の調査では、伊根A群、B群、C群、宮津A群の4群があるが、宮津A群が分かれたと思われる新たな伊根D群が確認されている。そのD群と前回詳細な調査が出来なかった伊根A群、主に蒲入から京丹後市にかけて生息している群の補足調査を中心にを行う。

檻の設置箇所は現在2か所に絞って地元で打診を行なっ

て進めており、これらについては、宮津A群に次いで大きい伊根C群の捕獲を想定しているが、京都府の専門家会議の了承が得られれば捕獲する予定としている。

問 今後、サルにGPSを付けたリ、また、アンテナ等を使用し、携帯電話等の端末を活用したサル群の動向把握を行うためには抜本的な対策が必要ではないか。

答 今は、発信機をつけたサル群を、アンテナを使用して探索し、目視で頭数を確認する調査が主流。以前、監査でGPSを付ければ簡単に追跡も出来るという提案もあり、京都府に制度等でそういうものがあるか確認しており、もしあれば、捕獲した折にメスの1頭にも装着すればパソコン等で確認できるのだが、事例がないため検討中である。
問 空き家対策で414万円の予算がついているが、これは、空屋197軒についての調査費用という説明であった。売ってもいい、貸してもいい

と承諾され実際に空き家バンクに登録されるのが10軒とした場合、1軒あたりの単価が高額になるが、これについての説明をお願いしたい。

答 197軒の空き家の意向調査を行い、余裕を持った414万円の予算計上は、実際に売ってもいい、貸してもいいという件数が予測不可能な上、執行額も予測不能という点を考慮しての計上である。

問 誘客対策事業で、無料WiFiスポットを屋外3か所、屋内3か所との説明だが、屋内3か所について、道の駅に3ヶ所も設置しないとWiFiが飛ばないものなのか。また、屋外3か所の設置予定場所でカバ―出来るエリアの範囲は何処までなのか。

答 道の駅設置予定の小型のWiFiは、5から6メートルしか飛ばないと認識している。屋外の3か所についても、20から30メートル程度と認識し、重複をして平田地区から鳥屋辺りをカバ―したいが、拠点となる部分を中心に

整備していく。

問 ADSLであれば1棟当たり1台で充分だが、その違いの説明と、15万人くらいお客さんが来られる丹後海陸交通日出駅にはなぜ設置しないのか。

答 小型のWiFiはこの場所でないとは飛ばないという説明をNTTから受けている。距離は短いですが、単価的、技術的なものを含めたことを勘案してのNTTからの提案である。3台を1つのプロックとして、それを組み合わせると

率の良いWiFiスポットにしていくための設置箇所は、これから充分、NTTと協議を重ねていくが、全てやるのは不可能なので効率良く、拠点に設置をしていくという考えである。

問 平田駐在所前の住宅は、長期間修繕されず、賃貸されることもなく放置されているが、予算がなかったために放置されているのか。

答 町営住宅の長期間の放置は町の収入減の悪因となること

から、退去後はすぐに修繕し、速やかに次の募集をかける仕組みが取れないか。

答 長期間の空き家の放置は修繕箇所もますます悪化することから、今後は早急に対応する。

問 消防施設等管理費の中で、防火水槽の土砂取り除きの場所はどこか。

答 入湯税基金の充当があるが、入湯税基金の使途としては環境、消防、観光の3つに充てることが出来るのは認識しているが、入湯税を払われた方は、おそらく防火水槽に使ってほしいとは思わない。伊根町の観光振興に思いつく納められていと思う。主に、観光振興に充てる財源と思うが、入湯税基金の使途割合は

答 土砂取り除きの防火水槽の場所は本坂、野村を予定している。

入湯税基金の歳入計上で充当しているのは、小型ポンプ付き積載車であり、防火水槽の土砂取り除きは一般財源で対応している。

観光促進に対しての入湯税充当が、適した目的であるとの指摘だが、実際には伊根花火への充当額が一番大きい。観光のほかにも環境衛生施設や消防施設が地方税法にも目的として記載されていることから、現在の使い方で進めていく考えである。

《討論なし》

↓ 全員賛成で可決



観光遊覧船

国民健康保険特別会計第1回
補正予算

間 総合保健事業費で時間外
勤務手当10万円が計上されて
いるが、夜間に行う健康教室
の内容と、開催期間は。

答 9月から運動指導士によ
るエアロビクス、ヨガ、総合
保健施設にある筋トレの器具
を使った運動教室を行う予定
で、現在参加者を募っている。

《討論なし》

↓ 全員賛成で可決



筋力トレーニング



運動教室

簡易水道特別会計第1回補正
予算

《質疑なし・討論省略》

↓ 全員賛成で可決

下水道事業特別会計第1回補
正予算

《質疑なし・討論省略》

↓ 全員賛成で可決



進む下水道工事

介護保険特別会計第2回補正
予算

《質疑なし・討論省略》

↓ 全員賛成で可決

後期高齢者医療特別会計第1
回補正予算

《質疑なし・討論省略》

↓ 全員賛成で可決

条例の一部改正

伊根町減債基金条例の一部改
正

提案理由 基金を債券により
運用するため、当該基金で有
価証券による運用ができる旨
規定する必要があるため。

（全員賛成で可決）

伊根町手数料徴収条例の一部
改正

提案理由 マイナンバー制度
の施行に伴い、通知カード及
び個人番号カードの再交付手
数料の徴収について規定する
ため。

（全員賛成で可決）

半島振興対策実施地域の指定
に伴う伊根町税条例の特例
に関する条例の一部改正

提案理由 半島振興法第17条
の地方税法の不均一課税に伴
う措置が適用される場合等を
定める省令が、平成27年3月
31日付で一部改正（平成27年
総務省令第39号）されたこと
に伴い、所要の改正の必要が
生じたため。

間 半島振興の対象事業費下
限額はいくらで設定されてい
るか。

答 かつては2,000万円
以上であったが、500万円
となつている。今回の改正の
目玉は農林水産物の販売所を
作つて物販する、そういうも
のを対象にするというのが大
きい目玉ではないか。

間 充実している制度なので
該当する方が多く出てくると
思う、広報等を通じ条例の周
知を。

答 前回、伊根町においては半
島振興法に係る伊根町計画が
現時点では策定されていない。
今、庁内で計画の策定を大至
急進めている。

（全員賛成で可決）

伊根町税条例の一部改正

提案理由 地方税法の一部を
改正する法律（平成27年法律
第2号）が平成27年3月31日
に公布されたことに伴い、伊
根町税条例について所要の

改正を行う。

（全員賛成で可決）

伊根町個人情報保護条例の一
部改正

提案理由 マイナンバー制度
の施行に伴い、所要の改正を
行う。

（全員賛成で可決）

その他の議案

伊根町過疎地域自立促進市町
村計画の変更

提案理由 伊根町過疎地域自
立促進市町村計画の事業及び
事業内容を追加するため。

間 平成27年度までの計画の
変更か。

答 平成27年度までのものに
ついて変更、追加を行うもの
で、因みに補正予算で出したも
のは、28年度からの計画を新
たに作ったものを製本にする
というもので、今回あげてい
るものは、今年度までの計画
を変更するものである。

（全員賛成で可決）

平成27年度伊根漁港海岸保全施設整備工事請負契約の締結
 提案理由 海岸保全基本計画に基づき、既設石積護岸の基礎洗掘及び背後用地の地盤沈下の防止のため、護岸の新設を行い浸食対策を図る。
 契約の目的 平成27年度伊根漁港海岸保全施設整備工事
 契約の方法 指名競争入札による契約
 契約金額 71,042,400円
 契約の相手 京都府与謝郡与謝野町男山800番地の1
 安田建設株式会社
 代表取締役 安田昌司

ては、12月末を予定している。
問 まだ、照明だとかはこれから出ると思うが、すべて完成するのはいつか。
答 夜間照明と防球ネットにつきましては、工事発注入札を予定している。それを含めても12月末には完成というところで取り組んでいる。
 契約の目的 平成26年度伊根中学校グラウンド舗装工事
 契約の方法 随意契約
 契約金額 48,695,040円
 (1) 当初契約金額 52,736,400円
 (2) 第3回変更契約金額 △4,041,360円
 ※第1回、第2回は工事の延長
 契約の相手 京都府宮津市須津1608番地
 河嶋建設株式会社
 代表取締役 河嶋義孝

人 事
教育委員会委員の任命
 平成27年9月30日で任期満了となるため。
 伊根町字亀島824番地
 山田 早苗
 (全員賛成で同意)
公平委員会の選任
 平成27年9月30日で任期満了となるため。
 伊根町字本庄上876番地
 藤原 清隆
 (全員賛成で同意)

要 望 ・ 陳 情
 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情(配付)
 福岡県行橋市今井3713-1
 小坪 慎也

臨 時 議 会
 第1回臨時議会が8月21日に開催され、町長から行政報告として「職員の懲戒処分について」報告がありました。
 臨時議会では、7月31日付新聞報道の不適切な事務処理による職員の懲戒処分について経過等の報告と再発防止について説明を受けました。
 質疑については次のとおりです。
問 職員の公共料金の未納は不正のきっかけになる。早期発見の具体的な対策は。
答 毎月、各課のチェックリストを基に、注視し慎重に対応する。
問 今回の件を危惧している町民も多い。今回の経過と再発防止策を広報などで示す予定はあるのか。
答 現在のところ、広報掲載等の予定はない。今回の臨時議会を開催したことにより、ホームページにも議事録が掲載されることからそれを持つ



棚田の稲刈体験

て公表としたい。
問 督促手数料等の未納は年度をまたぐと未収金として残るのか。
答 システム上と財務上の事務処理の時間差により、未収金として残る場合もあるが過去にはすべてお支払していただいている。
問 これらの場合は監査員が監査する段階で発見できないか。
答 伝票に記載されたものが例月監査の時に挙がってこない限り監査の段階ではわからない。

町政を問う

6人の議員が一般質問

犯罪、事故を防止する 安全対策は

関係機関と緊密に連携し 対応したい

7月18日に京都縦貫自動車道が全線開通し、京都北部に来自観光客も急激に増加している。一般的に都会からの交通の便が良くなると観光客の増加と共に犯罪も増加するといわれている。伊根町でも空き家が荒らされる、カメラ・釣竿を持った者が私有地に侵入す

る、釣客の駐車問題等が起きている。犯罪の抑止として、伊根町各所に監視カメラの設置が出来ないものか、また道幅が狭く狭小路である亀島地区への車両の侵入増が問題となっている。黒地附近に大西海岸の様な駐車場・公衆トイレ・貸自転車等を整備し、土・日・祭

日などには観光案内人をおき、他府県ナンバー車を進入させず亀島地区観光は歩いたり、自転車等で行ってもらおう。そのような犯罪・事故を防止する早期の安全対策が必要となっているが考えは。



佐戸 仁志 議員

地域住民とのいさかいやトラブルなども増加するので懸念する。警察・消防組合等関係機関と緊密に連携し対応したい。また、犯罪の抑止を目的とし町内数ヶ所に防犯カメラの設置をしたく思う。亀島地区の交通事故防止対策については景観舗装完了後、観光客には出来るだけ町中歩きを推奨する事とし、不特定多数の車両が亀山方面に入っていないかよう対応が必要であり、黒地周辺に観光客向けの駐車場が確保出来れば車両の通行量を減らす事が



満車の大西海岸駐車場

出来、交通事故の発生も抑制出来るものと考ええる。

サルの捕獲権を2基に

その方策も必要。検討したい

有害鳥獣の問題は、町や府、国も対策を取り、一定成果も現れてきているが、まだまだ被害は、続出している。サルが民家に侵入し被害を及ぼすようになり、全町的に玄關等に鍵がかけるようになつた。人へ危害も危惧され防犯としての対策も必要になつている。農産物では、

被害が拡大し、まるでサルのために農産物を作り、サルを大きくしてやっているようなものである。町内の多くのお年寄りが、生きる喜びとして家庭菜園を作ってきたが、今はあきらめる方も多い。もはや福祉の問題としても有害鳥獣問題は考えなくてはならない。



大谷 功 議員

先日新井の権で16頭の捕獲があったが、サルの権は一度入るとしばらくは入らない。効率的に短期間で捕獲し、群れの個体数を早急に縮小させるためにも、群れの活動範囲内に、権をもう一基設置出来ないか。

【答】(町長) 2基目は町単費となるが、全町的な課題で

あり、財源は度外視してそういう方策も必要。増設には地域の協力が不可欠なので、協力が得られるなら、検討したい。
【答】(町長) 被害調査を事前配布し正確に
項目を追加し、事前配布を実施したい

被害の発生を忘れることがないように、随時被害届を出せる体制を組む必要がある。
【答】(町長) 家庭侵入等の追加項目をした調査票を事前配布し随時報告を受け、被害が正確に把握できるよう工夫したい。



新井に設置されたサル捕獲檻

【答】(町長) 2基目は町単費となるが、全町的な課題で

【答】(町長) 2基目は町単費となるが、全町的な課題で

【答】(町長) 2基目は町単費となるが、全町的な課題で

地方版総合戦略の策定状況は

10月を目途に策定する

地方版総合戦略では、地域住民の意見を聞き、住民自らも参画していく仕組みが必要と考えるが、策定状況はどこまで進んでいるのか。

【答（町長）】住民懇談会ではいろいろな意見をいただいた。パブリックコメントを実施し、その後に本部会議

有識者会議を開催し、10月を目途に策定する。

再生可能エネルギーの地域産出について大きなリスクは背負えない

【答（町長）】地域の活性化には地域資源を活かすことが大切。原発の再稼働についても5割を超える人が反対とい



山根朝子 議員

うアンケート結果も出ている。原発事故は空間的にも時間的にも、異質の危険性があり、使用済み核燃料の処理方法もないということ。は原発の根本的かつ致命的問題だ。明治時代には筒川の本坂地区で小水力発電も行われていた。伊根町の自然を活

かした再生可能エネルギー計画を策定できないか。

【答（町長）】再生可能エネルギーは、作れる電力がまだまだ少ない、供給も不安定。自然状況に左右され全般的に発電コストが割高である。事業費負担も膨大な額となり、経営も非常に難しいことが予想される。ただ、木質バイオは当町でも取り組む有用性はあるのではとも考えている。今後先進事例を検証し、柔軟に検討していく。



太鼓山風力発電

空き家を活用した定住促進の強化を

調査し取り組む

綾部市が取り組む定住サポートを視察研修にて説明を受けた。当町も参考に、広報を含めた定住サポートの強化を図り、実施、検討すべきでは。

【答（町長）】今、空き家を改修し観光も兼ね合わせた1棟貸し、定住促進住宅や伊根暮らしお試し住宅の計画

もあるが、譲渡が一番のネックとなっている。今後は綾部市の施策内容を十分調査し、本町での可否を見極め取り組んでいく。

【答（町長）】今、空き家を改修し観光も兼ね合わせた1棟貸し、定住促進住宅や伊根暮らしお試し住宅の計画



和田義清 議員

【答（町長）】年に一度の調査の数字については、全ての被害が計上されているとは思ってないが、被害類はやや減少傾向にある。

【答（町長）】国府道は府管轄把握は。

の淹、町では把握していない。町道周辺は、見廻りや住民通報で確認し、維持管理上、支障のある物は補修を実施しているが、これらをまとめた台帳等の作成はしていない。

【答（町長）】被害状況を詳細に把握、データ化し、防止策に活用していく必要がある。その為には専属の担当が必要と考えるが新設の考えはないか。

【答（町長）】体制構築の必要性は、考えている。今後、業務の範囲、内容、職員の設定数管理、財源確保の問題

も踏まえ先進自治体等も調査研究し考えていく。

【答（町長）】耕作放棄地の増大も要因であり、府、近隣市町と連携し、補助制度の充実と訴え、町独自の対策も先進事例などを調査研究し、検討していく。



町道イノシシ被害

旧本庄中学校 今後の活用について

皆さんの意見・提案をお聞きし 協議していくことが重要

問 旧本庄中学校も廃校になり二年目を迎えたが、使用頻度も低く周辺の草も生い茂った状態であり管理不十分である。町長は、住民懇談会において「グラウンドについては、開放し将来的には農業振興の拠点にした」という思いを持っているとあるが、例えばどのよ

うな計画を持っているのか。
答（町長）現時点では特に具体的案はないが、農業団体の施設を集約拠点として活用できないか、農業者の皆さんの意見を頂戴したいと思っている。

問 ハウス事業により、「1ターンの」者を含め、200棟ものハウスで京野菜が栽培され、伊根町の農業振興を担うまでになった。棟数が増えるに伴い湿地、又国道・府道沿い等では除雪時の排雪による支障等も考えられ、条件の良い圃場も限界にきている。可能であれば、元々一等地であった当該地を農地（ハウス団地）に戻し、又、町営の農家住宅を



藤原 正人 議員

建てる事により、新規就農者等の受け入れ・定住促進へと発展するのではないかと。
答（町長）幸いグラウンドについては補助金が投入されていないので、自由度は建物より柔軟に取り組むことが可能であるが、土地は誰の所有にするのか、貸すのか、売るのが、建て売りが、その他にも多くの選択肢が考えられる。いずれにしても地域の方の同意が必要で、皆さんの意見や提案をお聞きし、協議していくことが重要。

の増高ができないか。
答（町長）ハウス補助のみの積み上げは補助制度のバランス欠くもので、他の産業を含め総合的に検討する。



旧本庄中学校のさくら

住民懇談会を終え 町長の施政を問う

日本で最も美しい村と 言われるに値する町をめざす



上 辻 亨 議員

問 無投票で三期目の決意として町長は住民懇談会を復活し実施した。今回は「地方創生」をテーマに懇談会を開催し多くの意見が出された。今後、町長が考える町づくりにおいて、当町で何が重要で何が必要と感じ、どのように進め取り組むのか。

答（町長）仕事づくりが最も重要で働く人材確保・育成に尽きると考える。伊根町に生まれた子供たちをしっかりサポートし伊根町らしい教育を図る。農林水産業を支え観光産業と融合した6次・10次産業型経済の構築。「無いものねだり」をしない、我が町にあるもの持

てるものを最大限に生かす日本でも最も美しい村と言われるに値する町をめざし、地域資源に磨きをかけ仕事・雇用の創出に努める。
問 町営2診療所に関し「引き続き医師確保を目指す」と述べているが住民懇談会を終え今後どのようにするのか。

答（町長）現在も特定の先生と具体的に折衝を進めている。勤務先の病院との調整や先生の将来のことも十分に見据えながら慎重かつ丁寧に対応したい。
問 住民懇談会では、20代30代の方の参加が少なかったように思うが、今後は若い人達にも参加できるように懇談会の取り組みが必要と思うが、今後そのような取り組みの考えはないか。

答（町長）20歳から30歳の若年層の参加が少なく残念に思うが、町政の推進には、若い世代の意見をくみ取る

事も重要な事だと理解している。今後は商工会青年部をはじめ各地域において若者で構成される団体（グループなど）を対象とし、懇談できるような機会をつくりたい。



地区懇談会

委員会報告

【総務委員会】

ICTの活用による高齢者対策と広報の在り方を研究

6月10日、7月16日、8月21日に計3回の委員会を開催。

予定されている視察先の研修目的としている政策の資料提供を受け、各々委員で意見を交わした。

また、研究すべき事件として、「ICT活用による高齢者対策と広報のあり方について」は、当町の現状と課題、改善点を再度把握するため、保健福祉課、企画観光課から各々2名の職員により、町内の現状と課題、改正すべき点等の説明を受けた。

今回は、各担当課から受けた説明を基に、町への政策提言になるような資料が作成できる協議を行う予定。

【産業建設委員会】

産業建設委員会で、農業を始める方の定住促進事業として、綾部市に行政視察をお願いしましたが農業支援事業に絞った定住促進事業は行っており、全議員で綾部市の定住促進事業について行政視察を8月4日に行い担当者からの説明と現地で定住されている方から話を聞きました。



【宮津与謝消防組合議会の報告】

消防署本部に新しい救急車が配備され、平成28年度より宮津分署建てかえの設計が実施

先ず報告事項として、消防職員の給与に関する条例の一部改正と平成26年度組合一般会計補正予算（大江山基地局と無線基地局を併用する補助金工事費の約1割の減額と繰越明許費となっていた避難地全面舗装工事完成）の専決処分報告を受けた。

続いて、職員の再任用に関する条例の一部改正、消防署本部配置予定の高規格救急車の取得について、平成27年度一般会計補正予算（第1号）の概要は、平成28年度までの緊急防災、減債事業債を財源とし、宮津分署建替工事が基本設計から実施設計に28年度に実施されることによるもので、いずれも全員起立で可決された。

研修会報告

平成27年7月27日京都府町村全議員研修会に参加

ニュースの裏側から、キーワードでこれからの政治経済を読み解く！

議員9名と事務局2名にて参加。第I部の講演は、読売テレビでお馴染みの報道局解説委員でもある高岡達之氏の講演。軽妙な語り口と、時に笑いを交えた中にも、経済成長の見方から食に対する世界の考え方、発想の転換による町の活性化事例、今後の衆参選挙予想から高齢者の生きがいなど多岐に渡る話題を鋭く分析し、解説されていました。

地方消滅に異論あり！人口減社会への対応とは？

第II部の講演は、第I部とはガラッと変わった雰囲気での講演。講師は首都大学准教授の山下祐介氏。大学の授業のような？講演と最初は感じましたが、参加している町村議会議員にとってはこちらの講演の方が実情に合ったテーマ。過疎化に至った要因と、現在進行中の過疎化への人口推移パターン紹介、要因と課題、改善策を解説されていました。回帰政策は重要だが、人口獲得ゲームに陥ることなく、地域の見直し、点検をもって根本的な部分から問い直し、新たな視点を持って建て直す必要性も感じました。各々の議員活動の参考にしていきます。



全議員研修会

平成27年8月25日京都府市町村議会広報研修会に参加

住民に読まれ、議会活動が伝わる議会だよりの作成技術と編集テクニックを学ぶ！

泉議長と前期広報委員3名が参加。府内16の市町の議会広報紙を使用して各々の長所、短所、改善点を講師が解説しながらのクリニックを受けました。伊根町の議会だよりは講師のクリニックによると、見出しや吹き出しを使った見やすいレイアウトの作成と、人物写真使用の際は表情のわかるショット写真の使用を！との診断結果を受けました。これを機に、一人でも多くの町民に読まれる議会だよりの作成に努めていきます。



広報研修会



伊根町大好き

伊根町長賞

伊根小学校 5年

永 濱 涼 花

「おはよう。」
 いつも明るく通る人が笑顔であ
 いさつしてくれる地いきの人や
 友達。そんな地いきの人や友達
 がいる伊根町が大好きだ。そん
 な伊根町では、車に乗っている
 人でさえも手をふってくれたり
 する。そんな伊根町の人運に出
 会うと私は今日も一日がんばろ
 うという気持ちになる。
 そんな私が大好きな伊根町に
 は、お気に入りの場所がある。
 それは、私の家の舟屋である。
 そこから見えるのは、山の緑を
 反しやして緑に見えるすきとお
 ったきれいな海。その中に見え
 るたくさん種類の魚達。そし

て、伊根わんの入口にある、堂々
 とした姿の青島。海にうかんで
 いるように見えるたくさん舟
 屋。目の前を行き交う様々な船。
 こうしたおだやかな何気ない
 風景だが、私は、この風景が大
 好きである。

次に、伊根町にはおいしい新
 鮮な魚がある。朝とれたての魚
 が伊根小学校の給食にも出てく
 る。煮魚や焼き魚が出る。サバ、
 カマスなどたくさ
 んの種類が出る。
 魚の食べ方コンテ
 ストではアジが使
 われ、頭からしっ
 ぽまできれいに食
 べる。五年間して
 いて、一年生から
 少しずつ上手に食
 べられるようにな
 てきた。伊根小学
 校ならではの取り
 組みで新鮮な魚が
 とれるからこそあ
 る取り組みだと思
 う。

このように、伊
 根町の人はとても
 優しくいつも見守
 ってくれているあ



(画名とも学年は要覧31時)

伊根浦舟屋群等保存会長賞 本庄小学校6年 岩井雄暉

たたかい人達がたくさんいる。
 だから、美しい風景、おいしい
 新鮮な魚のとれる伊根町が大好
 きた。私も伊根町の一員として
 声かけや明るく笑顔で、優しい
 人になりたい。そして、伊根町
 の風景や新鮮な魚をたくさん
 の人運に知ってほしい。そのため
 にも、伊根町の良さをみんなに
 知ってもらえるような取り組み
 をしていきたい。

広報編集委員

- 委員長 大谷 功
- 副委員長 佐戸 仁志
- 委員 和田 義清
- 委員 上辻 亨

編集後記

「世の中の人の為になる事をする」この信念
 で研究を続けている北里大学大村智特別荣誉
 教授のノーベル医学生理学賞受賞が決まった。
 彼はゴルフ場の土の中から微生物を発見し、
 アフリカの貧困で苦しむ人々を年間3億人救
 っているという。我々も教授にあやかり世の
 為、人の為、身近な人に親切に対応し、「心温
 まる」「人々に優しい」伊根町になるよう心が
 けたいものです。

